年間授業計画　新様式例

# 高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　国語　　科目 言語文化

教　科：国語　　科　目：言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年

使用教科書：（ 新編　言語文化（数研出版）　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。

科目　言語文化　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 話・聞 | 書 | 読 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 「とんかつ」（三浦哲郎）<br>【知識及び技能】<br>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | ・表題「とんかつ」は登場人物にとってそれぞれどういう意味を持っているか、話し合う。<br>・作品の内容を踏まえ、登場人物のその後の行動を想像して話し合う。<br>・一人１台端末の活用　等 | | | ○ | 【知識及び技能】<br>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>積極的に自らの作品世界を構築し学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 11 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 1 |
| | 「羅生門」（芥川龍之介）<br>【知識及び技能】<br>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | ・主人公はこの後どうしたか、自分の考えを文章にまとめる。<br>・近代小説とその典拠となった古典文学との相違点を探り、その相違が近代小説にどのような効果をもたらしているかを考える。<br>・一人１台端末の活用　等 | | | ○ | 【知識及び技能】<br>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 11 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 1 |
| 2学期 | 「児のそら寝」（宇治拾遺物語）<br>「高名の木登り」（徒然草）<br>【知識及び技能】<br>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。　作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | ・五十音順、いろは歌、歴史的仮名遣いなど古文を読むために必要なことを身に付ける。<br>・古語辞典を調べ、古今異義語など古語と現代語とのつながりを学習する。<br>・本文の叙述に沿って、登場人物の行動や心情を説明する。<br>・一人１台端末の活用　等 | | | ○ | 【知識及び技能】<br>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br>作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 1 |
| | 「芥川」（伊勢物語）<br>【知識及び技能】　古 | ・本文の叙述に沿って、登場人物の行動や心情を説明する。 | | | | 【知識及び技能】<br>古典の世界に親しむために、古典を読むため | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | ・本文中の和歌が表現する登場人物の心情を理解し、現代語の短歌に書き換える。<br>・一人１台端末の活用　等 | | | ○ | に必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>和歌に込められた心情を粘り強く解釈し、学習課題に沿ってそれを現代語の短歌に書き直そうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 1 |
| ３学期 | 「訓読」「格言」「中国の漢詩」<br>【知識及び技能】<br>漢文の世界に親しむために、漢文を読むために必要な訓読のきまりについて理解することができる。<br>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | ・古来より日本人が漢文を日本語として訓読してきた経緯を学び、返り点、送り仮名など基本的な訓読のきまりについて習得する。<br>・格言や漢詩を音読し、書き下し文に直す。・漢文の表現する世界を味わい鑑賞する。<br>・一人１台端末の活用　等 | | | ○ | 【知識及び技能】<br>漢文の世界に親しむために、漢文を読むために必要な訓読のきまりについて理解している。<br>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>漢詩文がもつ価値への認識を深めるとともに、積極的に漢詩文の音読や書写等に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 17 |
| | 「葉桜と魔笛」（太宰治）<br>【知識及び技能】<br>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | ・作品の展開を踏まえ、小説では書かれていない空白部分を想像して話し合う。<br>・題名の持つ意味について自分の考えを文章にまとめる。<br>・一人１台端末の活用　等 | | | ○ | 【知識及び技能】<br>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>進んで作品展開を理解し、これまでの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 1<br>合計<br>70 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | |